



評議員 選任について

3月12日に開催されました第11回評議員会において、評議員の選任を行いました。退任・新任役員は次のとおり。(敬称略)

《評議員》(現在数 16 名)

退任 磯部和典

新任 緒方 勤 田中順一郎

FGHR (Forum on Growth Hormone Research) 臨床研究助成金 交付者決定

公募したところ(1月31日締切)全国より12件の応募がありFGHR臨床研究委員会で審査の結果、次の5名に交付が決定。

小野 裕之 浜松医科大学 小児科

窪田 拓生 大阪大学大学院医学系研究科 小児科学

小山さとみ 獨協医科大学 小児科

三井 俊賢 慶應義塾大学 保健管理センター

八木 弘子 東京都立小児総合医療センター 遺伝子研究科

平成 27 年度研究助成金

自由課題研究募集について

●自由課題研究募集

1. 研究助成の対象の研究分野

成長科学に関する研究であって次の研究分野のいずれかに該当するもの。

- (1) 身体の成長・発達に関する基礎的・臨床的研究
- (2) 成長ホルモン又は成長ホルモンの関

連因子に関する基礎的・臨床的研究

- (3) 心の発達に関する研究
- 2. 研究課題：上記の研究分野に関し、応募の研究者が提案する課題
- 3. 助成金額：1件につき50万円
- 4. 応募方法：
 - (1) 当協会所定の申請用紙に記載のうえ、6月30日迄に提出して下さい。
 - (2) 1施設からの応募は1題に絞って下さい。
 - (3) 外国での研究については、応募をご遠慮下さい。

★上記募集の選考結果は、9月上旬に応募者に通知します。なお、申請用紙は、当協会ホームページよりダウンロードできます。

寄附ご芳名

ニュース 98 号以後、次の方々からご寄附がありました。

貴重なご寄附、誠に有難うございました。

㈱ 合 同 資 源 殿
日 本 天 然 ガ ス ㈱ 殿
関 東 天 然 瓦 斯 開 発 ㈱ 殿
(順不同)

お 知 ら せ

●所在地住所ビル名変更のお知らせ

事務所のビル名が5月1日より下記のように変わります。暫くは旧ビル名も表示されておりますので郵送物は届きますが、登録住所を新ビル名称へ変更いただきたく、よろしくお願い致します。

(旧) NP-II ビル → (新) VORT 本郷

(ポルトホンゴウ)

スリランカ民主社会主義共和国に対するヨウ素酸カリウム贈呈式

(ヨウ素関連調査研究事業報告)

3月17日、千葉県庁において、スリランカ民主社会主義共和国に対するヨウ素酸カリウム850kgの贈呈式が行われました。これは、ヨウ素酸カリウムを無償支援いただいた日本ヨウ素工業会、京葉天然ガス協議会、千葉県、Iodine Global Network、ユニセフなどのご支援、ご協力により実現したもので、協会はその調整役をしてきました。ヨウ素欠乏症は、発育不全、知能障害、その他種々の機能障害や甲状腺腫などを引き起こします。今回贈られたヨウ素は食塩に混ぜて国民に配布され、人々の健康維持に役立てられるということです。

出席者は、在日スリランカ大使館商務参事官 D.D.プレマラトナ氏、日本ヨウ素工業会会長・京葉天然ガス協議会会長 吉井正徳氏、千葉県副知事 諸橋省明氏、千葉県総合企画部長 鶴巻郁夫氏、ユニセフ東京事務所パートナーシップ調査官 大須賀智子氏、Iodine Global Network日本代表・当協会名誉顧問 入江 實氏、当協会理事長 田中敏章氏。

(肩書きは3月17日現在)



第28回公開シンポジウム開催

『自閉症とその周辺～子どものコミュニケーションの今～』をテーマに、下記のとおり開催予定。

〈日時〉平成 27 年 6 月 13 日 (土) 午後 1 時 30 分～4 時 30 分

〈場所〉UDX シアター/秋葉原 UDX4 階 (JR 秋葉原駅電気街口徒歩 2 分)

〈演者〉神尾 陽子(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 児童・思春期精神保健研究部 部長)

“自閉症は増えているか？コミュニケーションをめぐってどう理解すればよいのか”

〈演者〉五十嵐一枝(白百合女子大学文学部 発達心理学専攻 教授)

“自閉症周辺児のコミュニケーションの発達と特徴”

〈指定討論〉宮尾 益知(どんぐり発達クリニック 院長)

参加ご希望の方は、件名「第 28 回シンポジウム参加申込み」とし、お名前、人数、連絡先を明記し、FAX またはメールにてお申し込み下さい。(入場無料・先着 170 名 問合せ TEL: 03-5805-5370)

FAX: 03-5805-5371 メールアドレス: kimoto@fgs.or.jp